

たんぽぽ

～熊本市の教育～

熊本市の教育に関する今の話題や出来事を報告します

たんぽぽの花が綿毛のついた種子を風に乗せて遠くへ飛ばすように、熊本市の教育に関する情報を広めていきたいという思いを込めて「たんぽぽ」と名付けました。

【春日小】子どもたちと動物が触れ合える場所「ふれあい移動動物園」

5月27日(金) 春日小(西区)で、全校児童約240人が、「ふれあい移動動物園」でウサギやモルモットなどに触れて楽しんだ。

この取り組みは、同小の松並校長から、「子どもたちと動物が触れ合える場所をつくってほしい」との声を受け、熊本地震の影響で休園が続く熊本市動植物園(東区)が震災で傷ついた子どもたちの心を癒そうと実現したもので、1929年の開園以来初の試み。

参加した児童は、「かめやうさぎ、モルモットがとてもかわいかった。ひさびさに動物をさわって、心がほっとした。」と感想を語った。

同小の松並校長は、「子どもたちの心のケアが最優先と思ったからこそ、この時期に実施していただいた。動物と触れ合うことで、命の温もりや尊さを感じ取っていた。何よりもたくさんの笑顔を見ることができて良かった」と話している。(5月27日 熊本日日新聞に関連記事掲載)



【松尾北小・松尾東小・松尾西小】力いっぱい取り組んだ最後の運動会

5月29日(日)に松尾北小、松尾東小で、6月5日(日)に、松尾西小で最後の運動会があった。松尾地区の3校は、児童数の減少に伴い、平成29年3月末に閉校し、4月から小島小(西区)に統合される。

北小では、「ありがとう松尾北小学校、希望に向かって、力いっぱい踏み出そう!」を最後の1年のラストテーマとし、明治5年開校、創立145周年の伝統と誇りに感謝の気持ちを込め、最後の運動会に取り組んだ。運動会スローガンは「笑顔でフィニッシュ～かがやけ松北っ子～」。伝統ある松尾北小の最後の運動会に、子どもたち一人ひとりの笑顔が輝いていた。



松尾北小学校区のみなさん(松尾北小)

東小では、全校児童25人による白熱した応援合戦や、地域住民も参加した風船飛ばしがあった。同小の古家校長は、「体育館での実施にはなかったが、創立140年の歴史の締めくくりとして保護者や地域が身近に感じられるとても温かい運動会になった」と話した。



応援に熱が入る運動会の様子(松尾東小)

西小では、全校児童36人が、保護者や地域の声援を受け、赤白の2団に分かれ、リレーや綱引きなどに出場した。同小の小山校長は「『赤白36人、力を合わせて思い出に残る運動会にしよう』のテーマのもとに、自信とやる気をもって、最後まで全力でがんばってください」と話した。(5月30日、6月6日熊本日日新聞に関連記事掲載)



大玉転がしの様子(松尾西小)

【城北小】バスケットゴールありがとう ～熊本ヴォルターズから提供～

6月2日(木) 城北小(北区)に、男子プロバスケットボールチームの熊本ヴォルターズからバスケットゴールの無償無期限での提供があった。同小では、熊本地震で体育館が被災し、屋外用ゴールのない運動場で部活動をしていたが、バスケットボール部員の保護者が、同チームに協力を依頼したことから実現したものの。

屋外用ゴールが設置された運動場では、4年～6年の男女の部員30人が、同チームのコーチからバスケットボールの指導を受けるなど、練習を楽しんだ。

男子バスケットボール部の児童は、「震災があってもずっと体育館が使えなかったが、シュートなどいろいろな練習ができるようになったので、とても嬉しい」また、女子バスケットボール部の児童は、「シュートを打つ際のポイントを教えてもらった。今後の大会に向けて、頑張りたい」と感想を語った。

同小の廣瀬校長は、「体育館が使用できず、大変困っていたが、ゴールの提供により、子どもたちが張り切って練習に取り組んでいる。大変ありがたい」と話している。

(6月4日 熊本日日新聞に関連記事掲載)



【弓削小】心のこもった手作り雑巾、弓削小の子どもたちに届く

6月13日(月) 弓削小(北区)に、三重県四日市市の羽津北小学校の5年生と保護者から、熊本地震復興を願う応援メッセージが込められた手づくりの雑巾182枚が届いた。当初、雑巾は熊本市教育委員会に届いたが、創立時期が近いことから弓削小に贈られることになった。

雑巾には、「ほんのわずかでもお役に立てることはないかと考え作製した。被害に遭われた学校や施設などで使ってください」という温かいメッセージも同封されていた。

届いた雑巾は、児童会を通じて全クラスに配られた。受け取った児童は、「メッセージが書いてあるのが嬉しい。

使うのがもったいない」「心がこもっているなあ」「他の県の人にも応援してくれているから、頑張りたい」と感想を語った。

同小の児童は、心のこもった応援に励まされ、羽津北小からのエールに応えようと返信のメッセージ作りを企画。折り紙や飛び出す仕掛けのカードなど、みんなでアイデアを出しながらメッセージを作っている。

同小の西校長は、「今年は、『優しさあふれる弓削小学校』づくりを目指している。届いた雑巾を手に取り、そこに込められた思いを感じることで、周りの人にも優しくしよう・励まそうとする気持ちが育つ。貴重な体験をさせていただいた」と話している。



広報広聴関係について

各種事業名	概要	開催場所	対象者	内容	教育委員会関係件数 (6月定例教育委員会 会議以降新たに市の ホームページに公開さ れたもの)
ドンドン語ろう!	市長が各区に出向き、まちづくりについて直接市民と対話する。	各区公民館ホール等	各区内にお住まいの方、勤務されている方	まちづくりについて〔市長〕意見交換(市長、出席者) (平成27年度開始)	0
市民の声	市民からのまちづくりについての意見や提案を市政に反映させる。	/	どなたでも	市民が、市民センターなどに置いてある緑の封筒で意見や提案を送る。	2
				市長への手紙の電子メール版。市民がファクスや電子メールにより意見や提案を送る。	

各種事業名	開催日・受付日	提案・要望内容	回答内容（市長回答）
	1 H28 1月	<p>児童育成クラブについて</p> <p>2015年の夏休みは開所時間が8時からということで、とても助かった。しかし、2016年の冬休みは8時半からで少し困った。</p> <p>ぜひ、春休み、夏休み、冬休み、できれば運動会の振り替え休日の日など、子どもが朝から利用するであろう日は8時から開所してほしい。また、18時までの開所時間を延ばしてほしい。フルタイムで働いている人にとっては、少しきつい。</p> <p>また、希望すれば小学校4年生以上でも利用できるようにしてほしい。</p> <p>いろいろな事件がある世の中なので、一人で家においておくのが不安である。ぜひ検討してほしい。</p>	<p>ご承知のとおり、熊本市が運営する児童育成クラブの開所時間は、土曜日・長期休業期間は午前8時30分からとしておりますが、本年度は試行的に夏季休業期間について午前8時からの開所を実施したところです。現在、利用状況等の試行結果を踏まえ来年度の開所時間（8時開所）について検討を行っているところです。</p> <p>また、18時以降の開所時間延長及び高学年の受入れについては、職員配置や児童一人当たりの面積等の課題もあることから、国の策定した放課後子ども総合プランに基づく「熊本市放課後子ども総合プラン運営推進委員会」を平成27年度に設置し、その中で総合的な放課後児童対策について検討を行っているところです。</p>
市民の声	2 H28 1月	<p>市立図書館複本購入について</p> <p>年金生活者であり、認知症防止に図書館から本を借りて読書している。書店には置いてない本もあり大変重宝している。しばらく前に話題になった本も、世の趨勢を知りたくて出版から半年位したら市立図書館で借りることができた。一冊千円から二千元以上もする新刊書は、今の私には、やや負担でもあるのが正直なところである。</p> <p>最近気がついたのだが、以前は出版から半年から一年したらすぐに借りられた新刊書が全く借りることができない。図書館のHPで見てみると予約件数が50人待ちの本も珍しくない。本の数から言えば1~2年間以上待たなくてはならない計算になる。</p> <p>理由は複本購入が極端に減っているためとわかった。</p> <p>出版不況は今に始まったことではないが、ここ1~2年、作家等が図書館の複本のせいで新刊書が売れない、という文章をよく発表してきた。事の真偽は難しいところだが、図書館を利用する人と書店で本を購入する人は、重複しないのではないかと。図書館がまるで出版不況の元凶のごとき論は間違っていると思う。</p> <p>私も図書館から借りて読んだ本を蔵書にしたいと購入することも多い。今はネットで書店から消えている本も買えるのだから、私は金を出さず価値がない本が多すぎるからだと思っている。</p> <p>昨年は新刊書と雑誌が3~13%くらい書店販売が減ってきていると報道があった。ネット時代を含めての時代の流れもあるだろう。</p> <p>せめて出版から半年から一年経過したら市立図書館から新刊書を借りられるようしてもらえないだろうか。そのために複本を新刊発表からずらして購入することを希望する。</p>	<p>熊本市立図書館をご利用いただきまして、ありがとうございます。</p> <p>複本の購入につきましては、ご指摘のとおり以前より購入冊数を減少させています。これは、できるだけ多くのジャンルの本を購入するため、同一本の購入を控えさせていただいているためです。人気の本につきましては、他の本よりは冊数を多く購入しておりますが、それでも利用者の皆様が手にされるまでに時間がかかり、申し訳ございません。</p> <p>なお、複本購入の時期を半年から1年先に延ばすというご提案につきましては、有名作家やベストセラー、ロングセラーを除きますと、出版部数に限りがあり、後から購入ができなくなる可能性があります。特に児童書は一般書よりも品切れになる時期が早い状況です。</p> <p>そのため、できるだけ早い時期に購入するようにしておりますことを、ご理解いただきますよう、お願いいたします。</p>